

## 平行本棟の作成 (2004年6月)

屋根の作図で2本の線の中央に本棟を引きたい場合には、[CTRL]+「マウス左」を押して2本の線を赤く反転させます。

その後「マウスの右」ボタンを押して「平行本棟の作成」を選択すると作図されます。

線の長さは後に選択された線の長さのまま作図されます。

まん中に本棟を作図する場合は大変便利です。

(この機能についてのご質問があれば遠慮なくお電話ください。)

## PC本体ディスクチェック編 (2004年9月)

### \*\*\* Windows XP/2000の場合 \*\*\*

「マイコンピュータ」をクリックします。「C」の上で右クリックし「プロパティ」を選択します。「ツール」をクリックして「エラーチェック」から「チェックする」を選択します。ファイルシステムエラーを自動的に修復する にチェックをし「開始」をクリックします。

「…次回のシステム起動時にこのディスクの検査をスケジュールしますか」の質問に「はい」を選択します。その後コンピュータを再起動させます。再起動前にチェックが開始されます(英語の画面が表示)

Windows が起動すれば操作は完了です。

### \*\*\* Windows 98,meの場合 \*\*\*

「スタート」メニューから「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「スキャンディスク」を選択します。「C」を選択し「エラーを自動的に修復」にチェックをします。開始ボタンを押すと開始されます。(スクリーンセーバー等動作しているプログラムがあると何度も繰り返される場合があります。全てのプログラムを終了させて行なってください。)

※上記ディスクのチェックは場合によって時間がかかる場合があります。

※何度か再起動がかかる場合があります。

※パソコンの中では1つのハードディスクを複数に分けてある場合があります。それぞれに名前が付けてありますので個別に行います

## ハウスメーカー用部位の自動取得 (2004年12月)

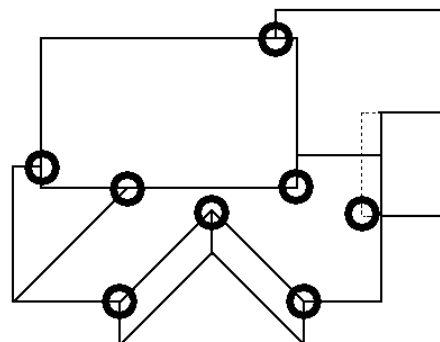
瓦プロ2000では新しく部位の自動取得機能が付加されました。

壁出隅・壁入隅・壁止り・棟止りなど、いままで自動で取れなかった場所を任意に指定し個数を数えることが可能になりました。

### 知っておくと便利な機能

瓦プロ2000では 作図時に、点、線の一つを選んで、

[CTRL]キーを押しながら他の点、線をクリックすると複数の点、線を選択することが可能です。これにより作図のスピードアップが可能です。



## 文字や数字の一部分をコピー（2005年1月）

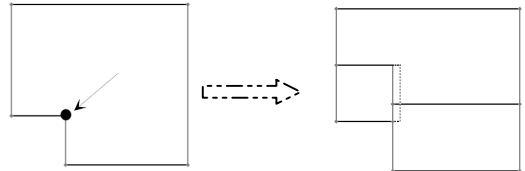
瓦プロ2000では 原価計算書、見積書などの編集作図時に、文字や数字の一部分をコピーすることが可能です。コピーしたい部分をマウスの左ボタンで反転させキーボードの[CTRL]キーを押したまま[C]を押すと一時的にコンピュータ内部に記憶します。（表面上の変化はありません）張りつけたい場所をクリックして[CTRL]キーを押したまま[V]で張りつけが可能です。この機能は Windows の機能の一部であり文字、絵などマウスで反転できる場所はコピーが可能です。

## Mr.瓦プロ 2000 作図操作での便利な機能

1	Shift + マウス左クリック (ソフト)	線のみを選択可能にします。 小さな選択できない線を選択する場合使用。 * Windows の操作では範囲選択になります。
2	CTRL + マウス左クリック (コントロール)	2つ以上の点、線の選択 一度にたくさんの点、線を削除する場合等使用 * Windows の操作では複数選択になります。

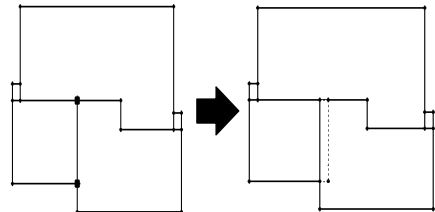
## 違い棟の作成（2005年6月）

違い棟部の段差のできる場所を選択「右クリック」  
後「違い棟の作成」を選択すると違い棟の自動作図  
が出来ます。



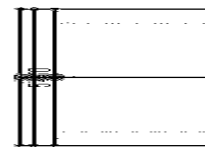
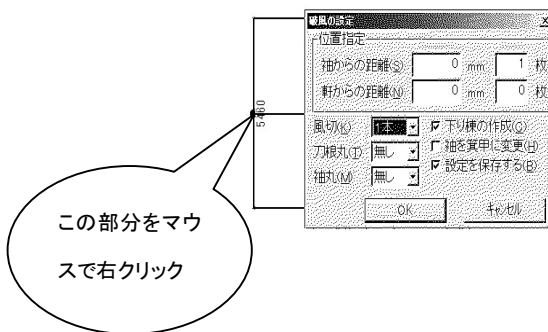
## 潜り込みの作成（2005年7月）

[CTRL]キーを押しながら2つの点を選択します。  
右クリックをすると「潜り込みの作成」を選択します。



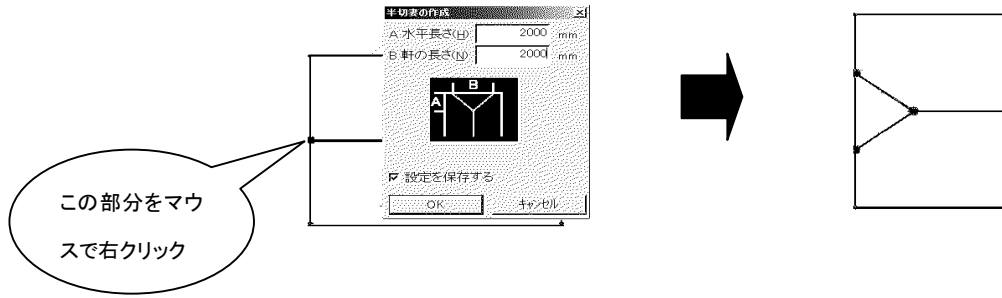
## 破風の設定（2005年8月）

切妻屋根の風切・下り棟・箕甲を作成します。下記の図のように切妻屋根を作図します。



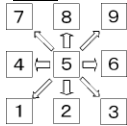
## 半切妻の作成 (2005年9月)

半切妻を作成します。下記の図のように切妻屋根を作図します。

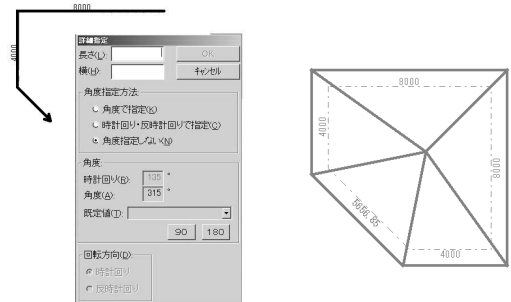


## 斜めの柱芯の作成 (2005年10月)

斜めの柱芯の作成時に方向キー (←→↑↓) を押し斜めをクリックするかキーボードより数字キー **5** を中心とする8方向

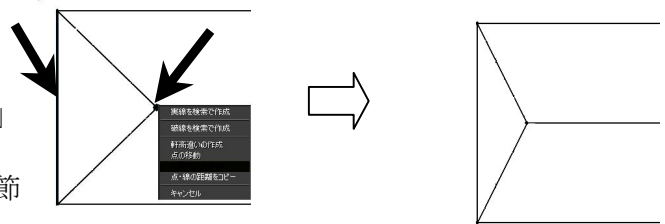


の数字キーを押すと斜めの寸法指定も行う事ができます。



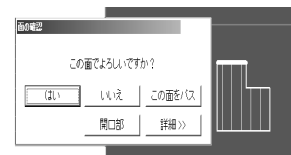
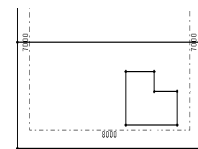
## 勾配付点移動 (2005年11月)

勾配付点移動寄棟屋根で一部急勾配がある場合一旦寄棟を作成。その後「CTRL」キーを押したまま軒線と寄棟の頂点を選択し「右クリック」→「勾配付点移動」を選択すると勾配の変更画面が表示されますので勾配を入力すると隅棟が指定した勾配に長さを調節してくれます。



## 手書きの開口部作成 (2005年12月)

「屋根線モード」にて開口部を作成したい場所の近くの点をクリックします。マウス (右) クリックで「点の作成」を行います。作成された点をマウスの右クリックにて[実線を寸法入力にて作成]を選択し線を作成します。同様に「実線を寸法入力にて作成」にて開口部全体を作成します。図面完成後面の指定時に作図した開口面を一旦囲み面の確認画面で「開口部」のボタンを押します。すると屋根中央部に作図した部分が開口部となります。



## くり抜き部の柱芯の移動 (2006年2月)

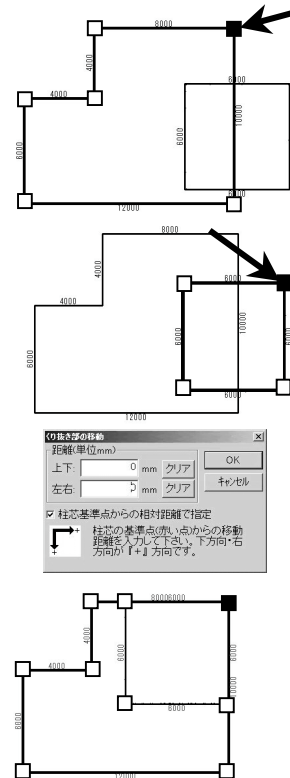
### くり抜き部の柱芯の移動

1階の柱芯の作成後2階くり抜き部の開始位置を間違えて作図した場合に一度作成された柱芯を移動が可能です。

柱芯モードを選択します。2つの基準点を選択してその距離を指定することにより移動します。

「選択」ボタンを押し1階の柱芯の真ん中を選択します。角に□が表示されます。その中の1つの■(赤い四角)が表示されここが基準の点となります。1階の基準点を変更したい場合は、角の□の点(白い□)を左クリックすると基準点の位置変更ができます

次に1階で指定した方法と同様に2階の柱芯の真ん中を「左クリック」にて選択します。2階の柱芯の真ん中で「右クリック」を押すと「くり抜き部の移動」が表示されます。1階の基準位置と2階の基準位置との距離を入力し「OK」ボタンを押すと1階と2階の柱芯が移動します。



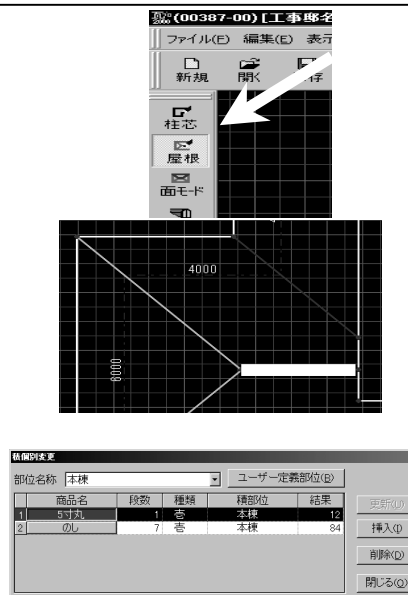
## 積みの個別変更 (2006年3月)

1階と2階の屋根で棟の高さが異なる場合に使用します。作図→面指定→積算までを行います。

「屋根」モードにし変更したい棟(線)・鬼(点)をマウスの左でクリックすると赤くなります。

「積個別」ボタンを押すと選択された部分の積み設定が表示されますので、商品名、段数の変更を行います。商品名の変更→商品名のところにマウスを持っていき右クリックする。

その後積算ボタンを押すと1階、2階の棟の高さ等が個別に積算されます。



## 枝番作成機能 (2006年4月)

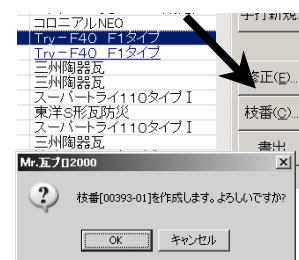
2種類の瓦で見積を行う場合使用します。

まずは積算見積まで行います。

「開く」で物件一覧の中から作成された物件を選択します。

(青色に表示されます)「枝番」を押すと OXXXX-01 と下 2 桁-01 が作成され、

「よろしいですか」と聞いてきますので OK を押すと複製された物件が表示されます。「物件」→瓦セット を選択して瓦名称の「参照」をクリックして瓦を変更します。変更後積算ボタンを押します。



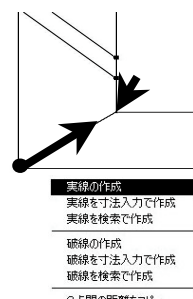
## 実線の作成、実線を寸法入力で作成、実線を検索で作成の違い。(2006年5月)

### ●実線の作成

作成された点と点を結ぶ場合、または任意の線を作成します。

線の引き始める点をマウスで左クリック。その後右クリックし「実線の作成」を選択し左クリックします。マウスを移動させると引き出し線が出ますので終点の上、または任意の位置まで移動させます。

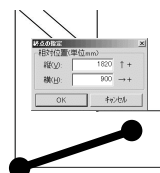
点と点を結ぶ場合は赤い点上に移動させるとマウスの形状に P が表示されます。左クリックすると線種を選択画面が表示されますので該当する線種を選択します。



### ●実線を寸法入力で作成

指定した寸法で線を引く場合に使用します。

線の引き始める点をマウスで左クリック。その後右クリックし「実線を寸法入力で作成」を選択し左クリックします。マウスを移動すると引き出し線が出ますので、左クリックすると寸法入力画面が表示されますので寸法入力後線種を選択します。

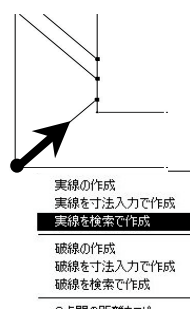


### ●実線を検索で作成

最初の線を他の線にぶつかる迄作図する時に使用します。

線の引き始めの点をマウスで左クリック。その後右クリックし「実線を検索で作成」を選択し左クリックします。

マウスを移動すると引き出し線が出ますので、壁を行きすぎた所で左クリックすると線種を選択画面が表示されますので該当する線種を選択します。



## 柱芯への検索機能 (2006年6月)

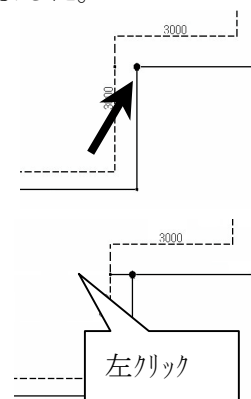
屋根の作図で「実線を検索で作成」機能に柱芯迄の検索線引きが可能になりました。

操作：

線の引き始める点をマウスで左クリック。その後右クリックし「実線を検索で作成」を選択し左クリックします。マウスを移動すると引き出し線が出ます。

破線の柱芯を少し行き過ぎた点までマウスを移動させ左クリックします。線種を選択メニューが出てきますので、線種を左クリックすると、柱芯迄の線が作成されます。

※この機能の使用は Build244 以降のバージョンが必要です



## 手打ち見積書に見積マスタからの一括取込み機能（2006年8月）

（Buld244以降が必要です。）

操作：

Mr.瓦 プロ 2000 を起動させます。

初期の設定として「マスタより見積マスタ」でマスタを新規に作成するか又は既存の見積マスタを使用します。

「開く」ボタンを押します。

物件の一覧が表示されますので、「手打新規」のボタンを押します。

手打ち見積書の物件情報登録が「表示されますので、邸名、得意先等を順に入力後見積(E)の部分に見積マスタで作成したマスタ名称を選択します。

「OK」ボタンを押すと見積マスタで作成した項目及び単価が取り込まれ手打ち見積書が簡単に作成することが出来ます。ここで修正・削除・追加も出来ます。



区	区-中	項目名	数量	単価	金額	備考
1		屋根工事	210	2,000.00	420,000	
1		本棟 手打丸	10.0	10,000.00	100,000	
2		消費税			8,800	
2		総合計			528,800	

## 面の解除（2006年9月）

葺き替え、増築などで、施工しない屋根面を積算から除外する場合に使用します。

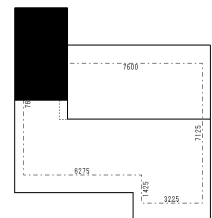
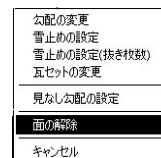
操作：

作図→面の指定まで行います。

その後積算しない部分の面を選択しマウスの右ボタンを押すと

メニューが表示されます。「面の解除」をマウスの左ボタンを

押すと選択した部分が積算から除外されます。その後積算ボタンを押して積算を行います。



## 重なり部分の鬼・巴の積算（2006年10月）

切妻の場合重なり部分の鬼・巴の積算をしない。

①の本棟を直線でA～Cまで（分断しない）作図します。

同様に②の本棟をDからBまで（分断しない）作図します。

矢印部分で本棟を切断してしまうと上屋根の棟鬼・巴を積算しません。

